



広島県の少子化対策



なみおと岬



イクちゃん大使と湯崎知事



赤ちゃんを囲んで



こいのわ幸せファミリー



2016.7.12
広島県健康福祉局

広島県の概要

- 総人口 2,860,750人 (2010 国勢調査)
- 面積 8479.38km² (2014 国土地理院調査)
- 県内自治体数 23市町
- 合計特殊出生率 1.57 (2015 人口動態統計調査)
〔全国1.46〕

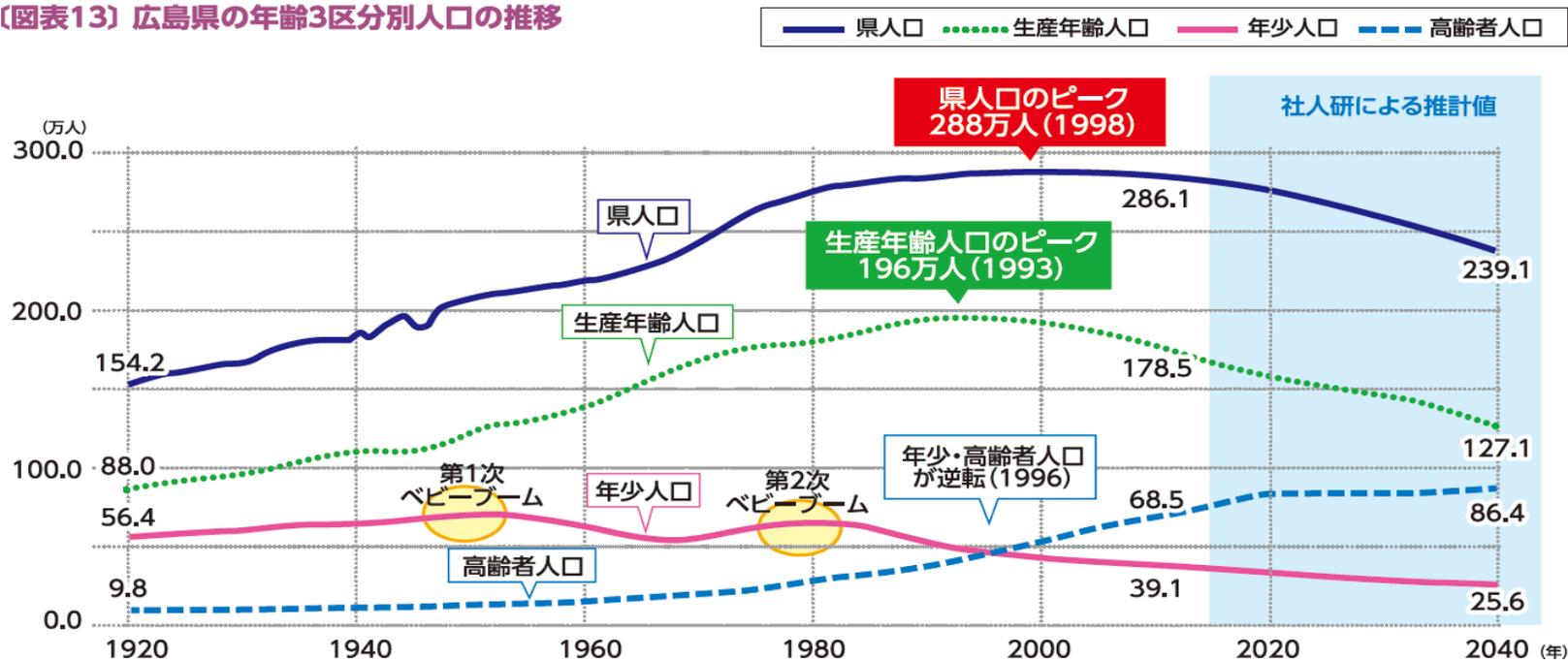


広島県の人口の推移

2010年から2040年にかけて、

総人口は47万人、生産年齢人口は51万人減少。高齢者人口は18万人増加

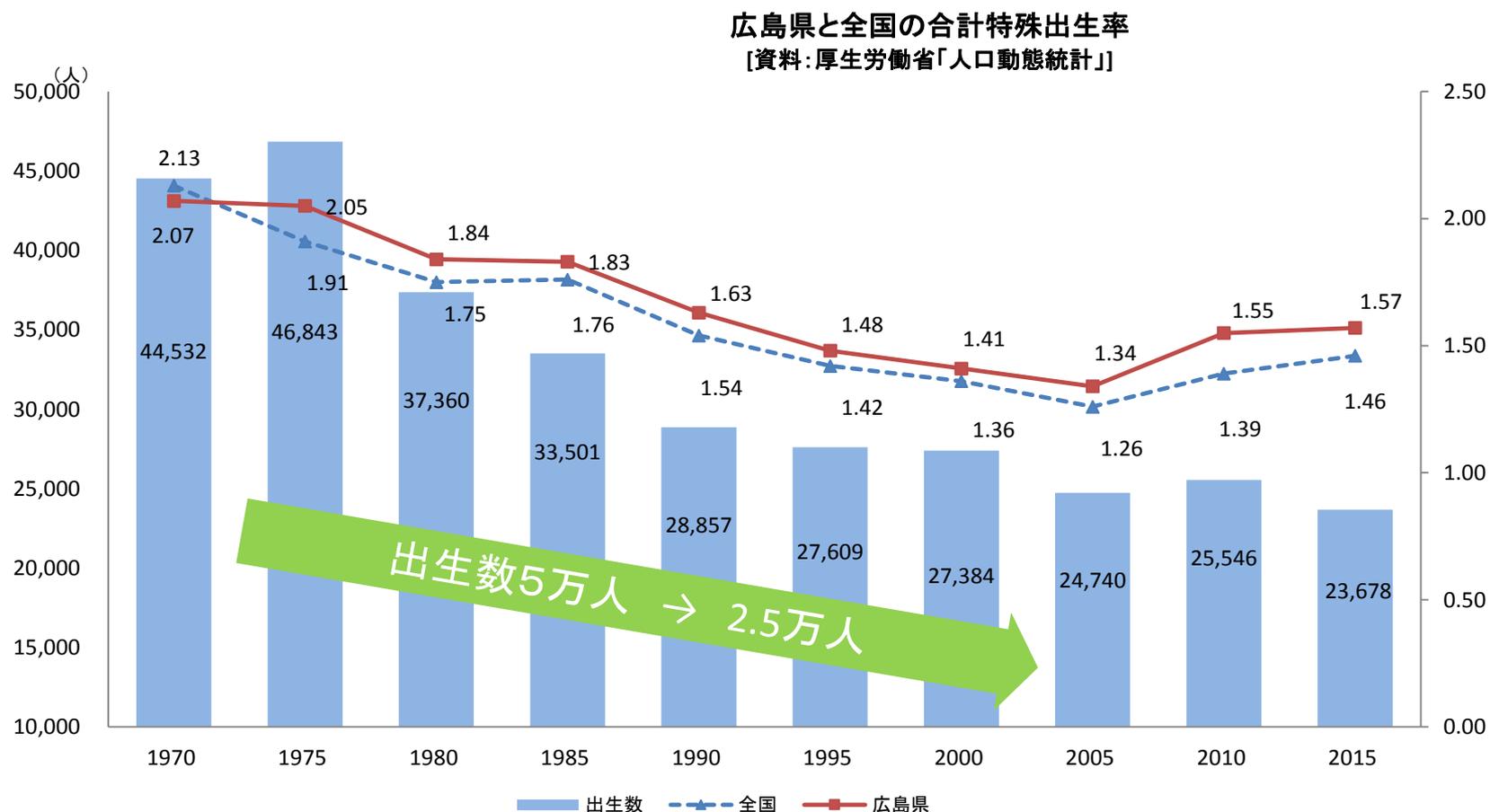
〔図表13〕 広島県の年齢3区分別人口の推移



| 区分 | H22(2010) | H52(2040) | 増減 |
|----------------|-----------|-----------|-------|
| 年少人口(0~14歳) | 13.7% | 10.7% | ▲14万人 |
| 生産年齢人口(15~64歳) | 62.4% | 53.2% | ▲51万人 |
| 高齢者人口(65歳以上) | 23.9% | 36.1% | +18万人 |

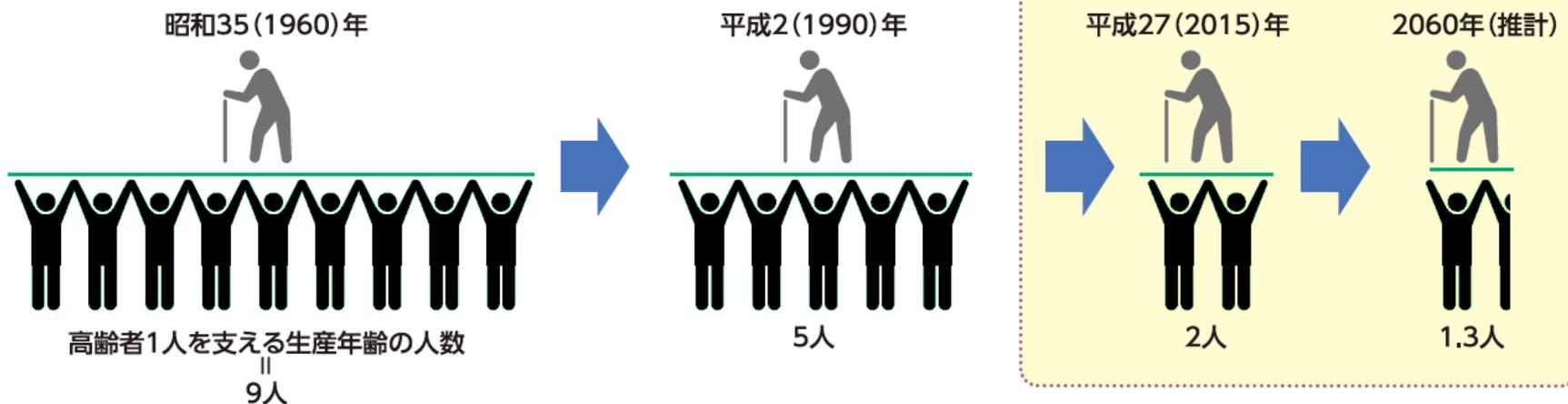
広島県の人口の推移

合計特殊出生率は増加傾向にあるが、出生数は減少
(40年間で約半数)



社会保障への影響

2060年には、現役世代1.3人で高齢者を支える社会へ



《経済への影響》

県全体の人口が減少すると、消費市場としての相対的な魅力を失うことで、対人サービス関連業種を始めとする企業の県外転出が進むと考えられる。

その結果、労働市場は縮小に向かい、失業と人口の流出が起こり、そのことが更に地域経済の縮小を招くといった『負のスパイラル』に陥るおそれがある。

少子化の主要因

- 未婚化, 晩婚化の進行
 - 第1子出産年齢の上昇
 - 長時間労働
 - 子育て中の孤立感や負担感
 - 仕事と子育ての両立の困難さ など
- さまざまな要因が複雑に絡み合っている。

ライフステージごとの課題

結婚

妊娠・出産

子育て

課題

- 若者の未婚化・晩婚化が進行
- 出会いがない。積極的に異性と交際しない
- お見合いなど結婚につながる仕組みが減少

- 高齢出産のリスク増
- 子育てに対する不安
 - ・経済的なもの
 - ・生活の変化
- 仕事を続けたいので、出産をためらう

- 子供と関わった経験が不足し、子育ての不安感
- 育児や家事の負担は女性(母親)に集中
- 相談できる人や場所が不足

女性の活躍促進

課題

- 仕事と育児の両立の負担、キャリア意識の醸成
- 待機児童の発生、子供の預け先がないことから辞職(再就業できない)
- 雇用主の女性人材の育成・サポート体制が不足

出会い・結婚支援

- 地域の特성에 応じた 出会いの場の創出が必要
- 県全体で結婚を応援する機運の醸成が必要

■ 未婚の理由 第1位 ⇒ 「出会いがない」

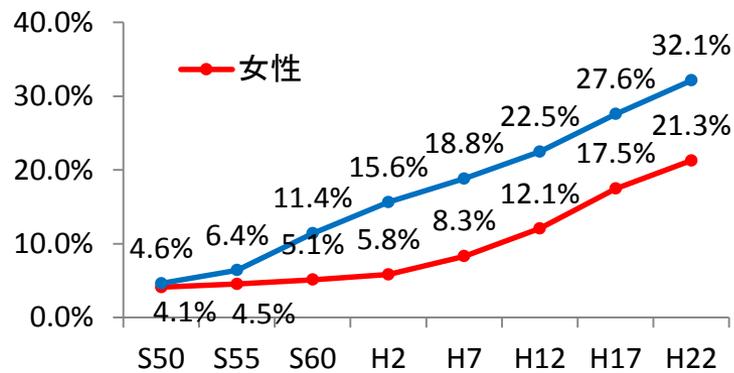
■ 交際している異性がない人の割合
(広島県在住25-39歳:インターネット調査)

⇒ 男性78.0% 女性70.0%

■ いつかは結婚したいと考える人の割合

⇒ 約9割(内閣府調査)

【広島県の男女(35歳~39歳)の未婚率】



総務省「国勢調査」

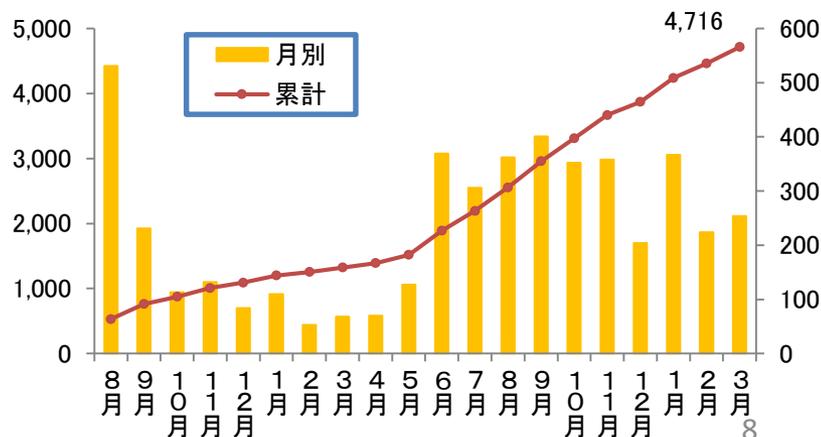
▶ 「ひろしま出会いサポートセンター」(2014.8月開設)

- ・結婚に役立つ情報(イベント等)発信
- ・地域のおせっかい役(ボランティア)の養成
- ・社員の結婚を応援する企業の登録
⇒ 異業種交流会を実施(7/15予定)

会員登録者数
4,716人(2016.3月)



会員登録の推移



みんなでおせっかい「こいのわプロジェクト」を展開(2015～)

県の出会い・結婚支援の取組みの認知度を高めるため、さまざまな
広報・啓発プロモーションを実施



広島県出身タレントを
起用した広報



会員の成婚報告記者発表



「こいのわ」番組の制作・放映



県主催出会いイベントの開催



～首都圏プロモーション～



～リアル桃太郎電鉄広島編～



- ・県イベントに延2,474人参加し、309組のカップルが誕生！
- ・結婚支援の認知度15%アップ(県調査6月39%⇒11月54%)

成婚報告
15組

民間企業・団体の主体的な結婚支援の広がり

▶「ひろしま出会いサポーターズ」 (2015年度～) ▶「こいのわカフェ」 (2016年度～)

- ・ 地域で結婚支援活動を行う団体を「ひろしま出会いサポーターズ」と任命し、地域での取組を広く発信

- ・ レストランや喫茶店のオーナー主催の出会いイベント実施を促進
- ・ 新たに任命する「こいのわボランティア」がカップルの交際をフォロー

23団体を任命

- ・ イベント数: 28回
- ・ 参加者: 1, 124名
- ・ マッチングカップル: 138組

2016.5月の実績

- ・ イベント数: 11回
- ・ 応募者: 1, 027名
- ・ 参加者: 430名
- ・ マッチングカップル: 75組

サポーターズ第1号「おせっかいおばさん」

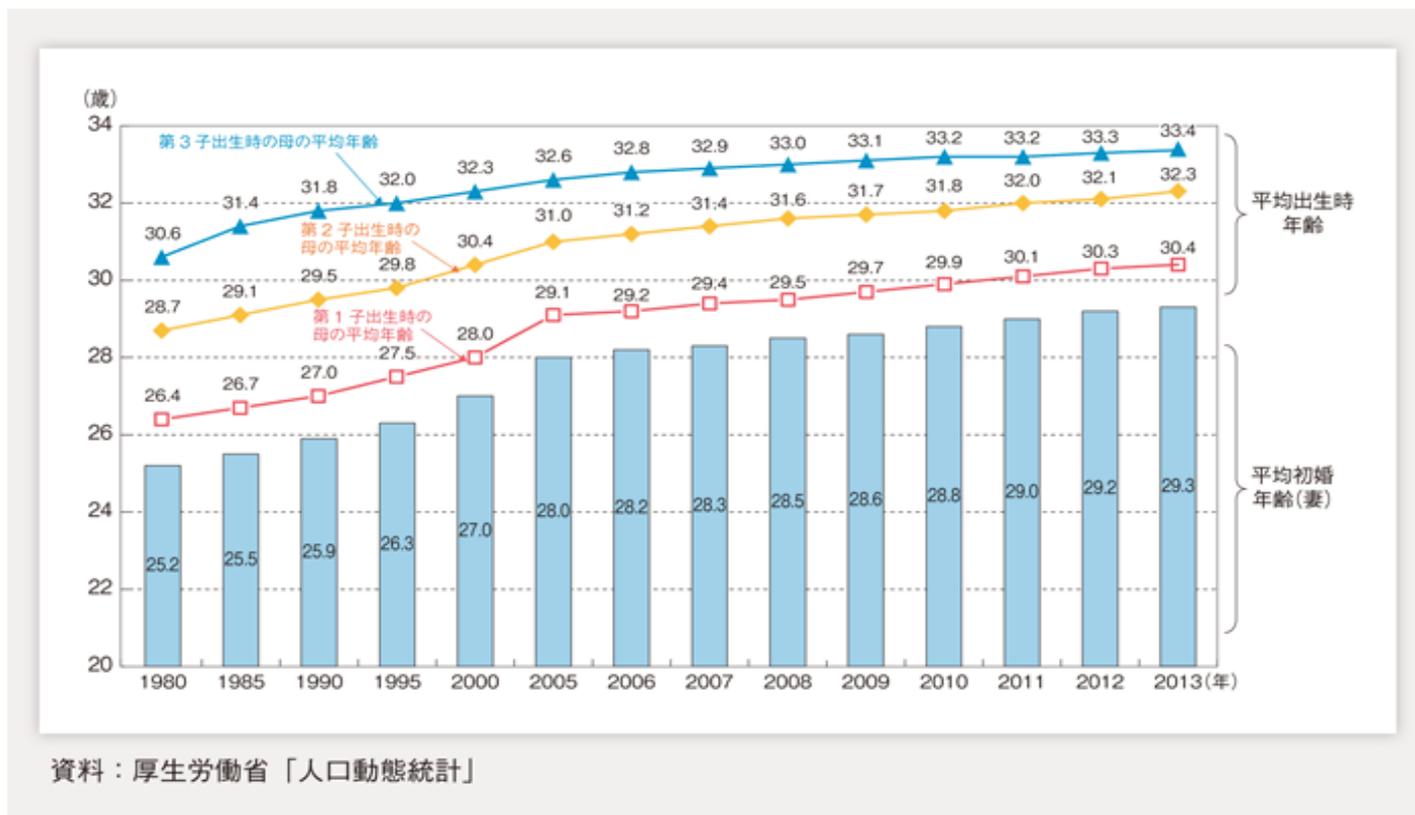


2016.4.6 こいのわカフェ

妊娠・出産

- 不妊治療費の助成や相談体制の充実が必要
- 妊娠・不妊に関する正しい知識の啓発が必要

■ 平均初婚年齢は上昇傾向で、出産年齢が高くなる晩産化が進行している。



子育て

- 子育て支援環境の充実が必要
- ニーズに対応した支援を受けられる体制づくりが必要

▶ イクちゃんサービス (2006年度)

親子で出かけやすい環境をつくるため、企業や店舗等による子供と子育てにやさしいサービスを提供

参加店舗数
⇒ 6,300店舗超



ポイントアップ、割引

子供用トイレ
約3,200か所設置

▶ イクちゃんネット (2011年度)

子育てポータルサイトを開設し、情報を一元化



取組開始から約10年
合計特殊出生率が上昇

2004年 1.33
2015年 1.57

さまざまな子育て支援

民間企業とも連携し、子供の健やかな成長と子育てを応援するためのイベントを開催するとともに、積極的な子育て参画を促すための啓発冊子を作成・配布

子供向けイベント



広島県の子ども元気
いっぱいキャラクター
イクちゃん



育児啓発冊子

初めて子供を持つ
父親向け



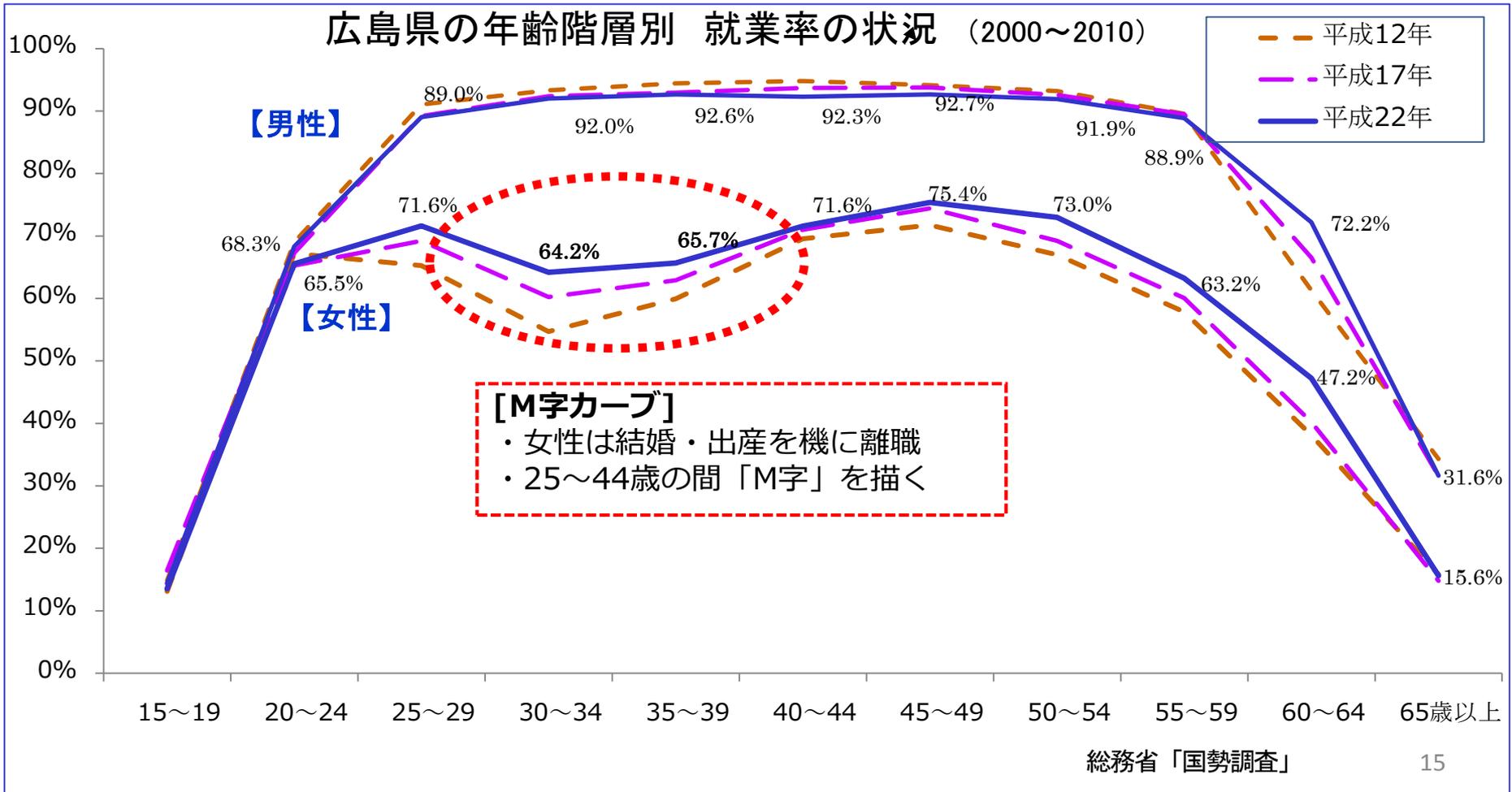
祖父母世代向け



女性活躍

- いつでも安心して子供を預けて働くことができる保育環境づくり
- 女性にやさしい職場環境の整備, 継続就労支援・復職支援
- 男性の家事・育児に対する意識の向上

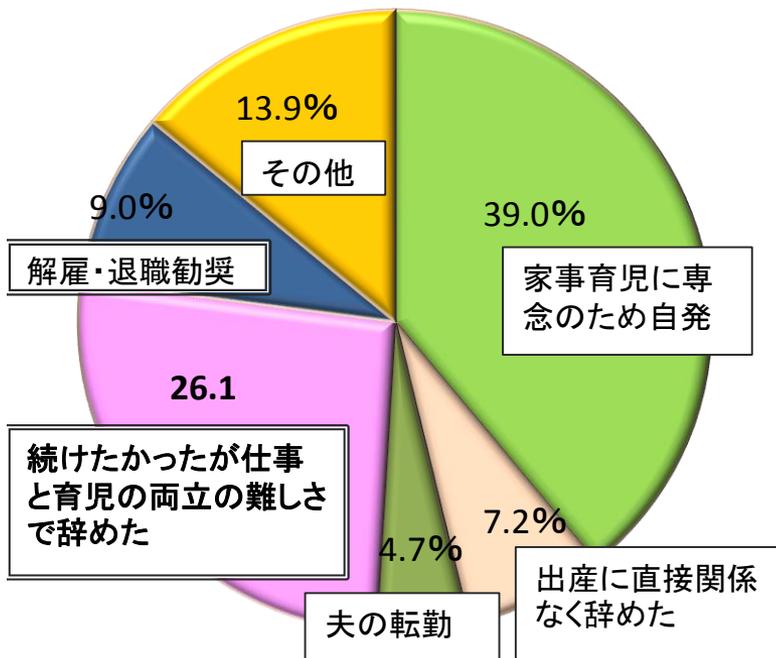
M字カーブは浅くなっているが、依然として子育て期に凹んでいる



女性の就業継続への壁

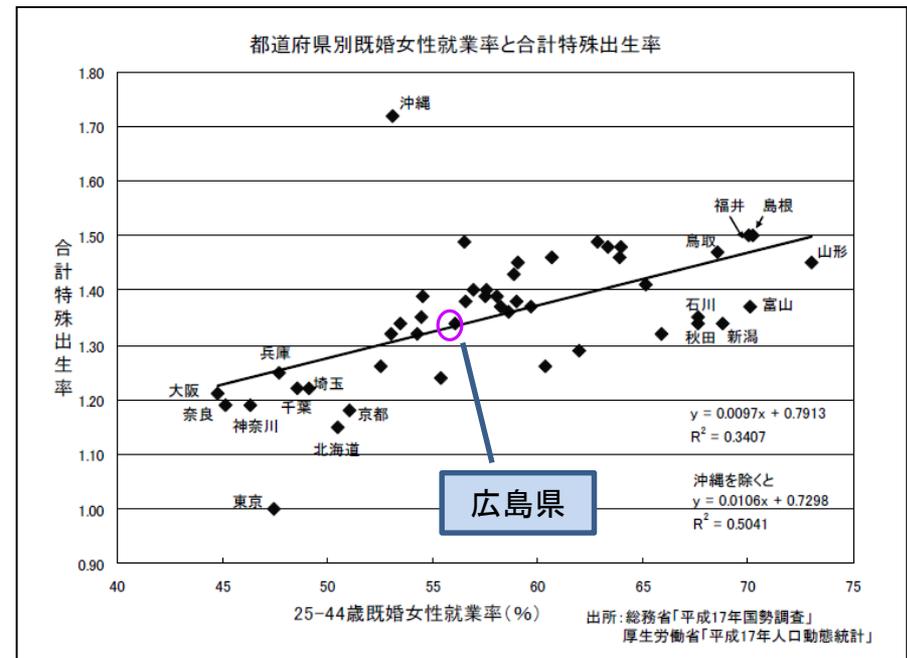
第1子出産前に仕事をしていた女性のうち、62%が出産後に退職

■ そのうち、26.1%は、
仕事を続けたかったにも関わらず、両立の困難さを理由に退職



(2011年版子ども・子育て白書)

■ 女性の就業率と合計特殊出生率には、
相関関係がある。



いつでも安心して子供を預けて働くことができる保育環境づくり

保護者の保育ニーズが多様化する中で、**保育の受け皿** & **保育士の確保**に取組中！

▶ **保育の受け皿**の確保

【ハード整備】

- ◆ 保育所や認定こども園の新設や定員増
- ◆ 小規模保育園などの整備をスタート(2015~)



【多様な保育サービスの充実】

- ◆ 病児保育や延長保育・休日保育の充実
- ◆ 事業所内保育施設の開設促進

⇒詳細は次ページ

▶ **保育士の確保**

【未就業の保育士への就業支援】

- ◆ 保育士人材バンクの開設(2012)
保育士の求職と保育所からの求人をマッチング

2012年7月～2016年4月で、
588人の保育士が就職

もし認可保育所に入れなくても大丈夫！

いつでも安心保育支援金

2015からスタート

⇒詳細は次ページ

広島県の特徴ある取組

▶ **いつでも安心保育支援金** (2015年度～)

保育所等に入所待ちとなり、やむを得ず認可外保育施設を利用する方のために、
認可保育所等の保育料との差額を助成 ⇒ **安心して子供を預けて働き続けられる！**

▶ **広島県事業所内保育施設『イクちゃんち』** (2016年3月)

～県内企業の大手の広島銀行と共同で設置～

⇒ 「イクちゃんち」をモデルに、県内の多くの企業で開設が進むことを期待している！

20の企業で開設 食品製造企業、病院、介護施設など

開園セレモニー



保育の様子



女性が活躍できる環境づくりに向けた取組

▶ 女性の再就職支援

- ・わーくわくママサポートコーナー(広島市・福山市)
ハローワークとの一体的な運営による, 女性の再就職支援

相談:1,474件 就職:255人(2015年度)

- ・「女性の働く一歩応援ツール」のリリース(2016.3~)
気軽に楽しみながら, 働くことを考えるきっかけを提供する
アプリや, 県内の女性の多様な働き方事例を紹介

▶ 女性活躍の機運醸成

- ・働く女性応援隊ひろしま
経済団体・労働団体・行政が参画し結成(2014.4~)
県内各地で女性活躍の機運を醸成



サービス案内係
「カンガルーねえさん」



「広島式 デイグラム性格
& 適職診断」アプリ」

**働く女性応援隊
ひろしま**

男性の育児参画を推進

「男女がともに働きやすい職場づくり」を目指して

▶ **「イクボス同盟ひろしま」の結成** (2014.3)



【メンバー】

イクメンを応援し、男女が共に働きやすい職場づくりを進める経営者
(結成時20人。2016年3月末現在で100人！「イクボスの輪」が拡大中！)

【主な活動内容】

- 企業経営者の意識改革や職場の働き方の見直しを行うための広報
- 自社の取組紹介や県内企業への普及
- 男性の育児休業取得を促進するための活動



(2015年5月開催 イクボス同盟例会の様子)

男性の育児休業取得促進

▶いきいきパパの育休奨励金 (2010年創設)

育児休業等を取得しやすい職場環境の整備を支援するため、男性従業員が1週間以上の育児休業等を取得した中小企業事業主に対し

10万円～30万円までの奨励金を支給

2011～2015(5年間)平均 46件

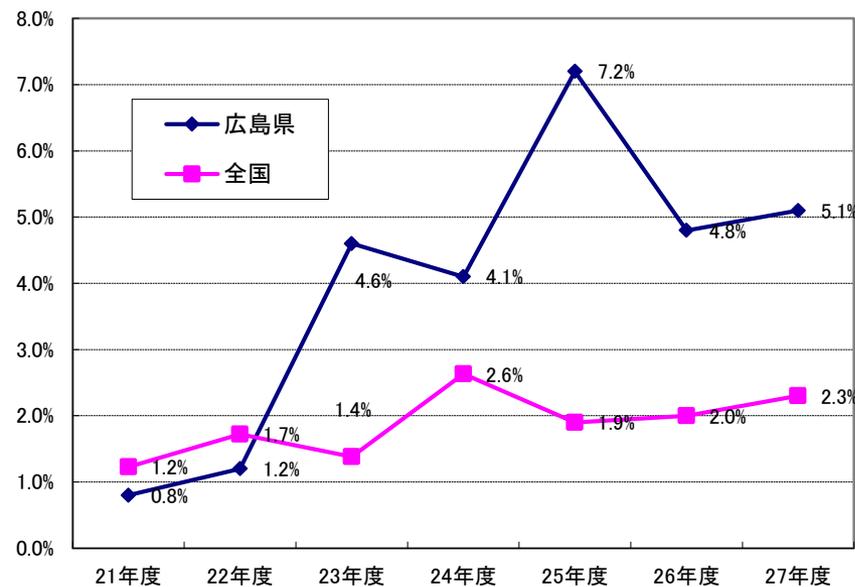
制度を利用した経営者の声

○若い人が働きやすい職場にしたくて、男性の育児休業に取り組みました。(不動産会社)

育休取得者の声

○営業なので無理だと思っていましたが、会社からの勧めで取得しました。復帰後は、会社や同僚に恩返ししたい気持ちになりました。(営業職)

男性の育児休業取得率推移



広島県/職場環境実態調査 全国/雇用均等基本調査
※ 年度は公表年度とする。

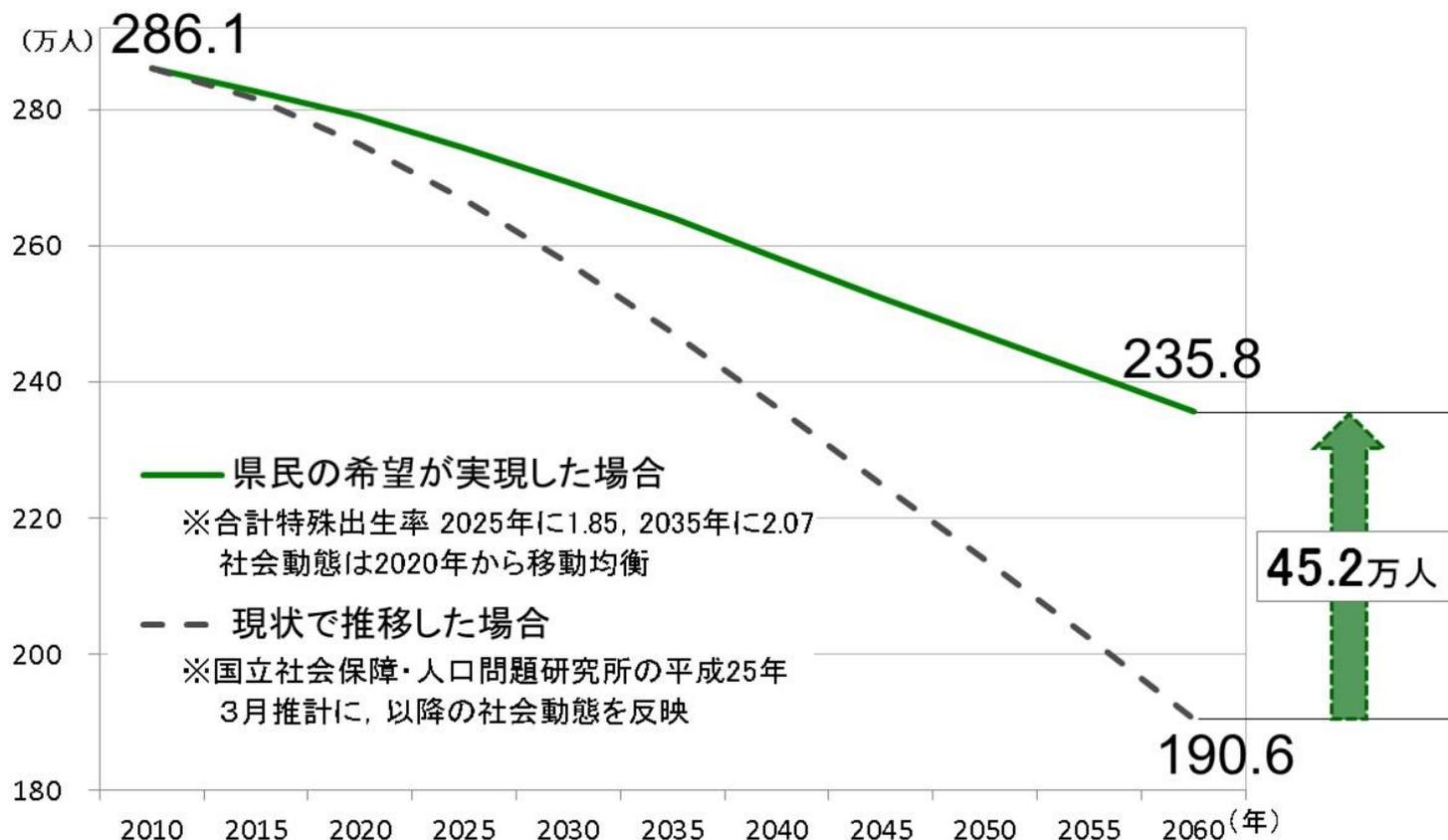
今後の施策の目標

「結婚」から「子育て」まで切れ目のない支援と、女性の活躍促進を一体的に推進

| | 主な成果目標 | 現状値 | 目標値 (2020年) |
|------------|-------------------------|-------------------------------------|----------------|
| 出会い・ 結婚 | 有配偶者率 (25~39歳) | (2010年) 女性 : 59.5% 男性 : 51.0% | 63.2% 53.5% |
| | 妊娠・ 出産 | (2014年) 177人 | 253人 |
| 子育て | 子育てに楽しみや喜び・生きがいを感じる人の割合 | (2014年) 76.7% | 88% |
| | 男性の育児休業取得率 | (2015年) 5.1% | 13% |
| 女性活躍 | 女性 (25~44歳) の就業率 | (2010年) 68% | 73% |
| | 指導的立場に占める女性の割合 | (2015年) 19.4% | 30% |

人口の将来展望

- ・ 現状で推移した場合、2060年の人口は**約190万人**
- ・ 出生や社会移動に関する県民の希望が実現することで、合計特殊出生率や転出超過が改善した場合、2060年の人口は約235万人となり、現状で推移した場合と比べて**約45万人増加**



広島県が目指す姿

結婚を希望する人が出会い・結婚でき、
子供を希望する人が安心して妊娠・出産でき、
希望する時にいつでも安心して子供を預けて働くことができ、
すべての県民が子供と子育てを支え
そして、すべての子供たちが健やかに育つこと



仕事も、結婚も、子育ても・・・
県民のよくなるライフスタイルを
応援します。



ありがとうございました